

景況レポート

(8月分・情報連絡員 80名)

景況はわずかに上昇 ～猛暑の影響で業界に明暗～

【概況】8月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが13.8%(前月調査8.8%)、「悪化」が46.3%(同42.5%)で、業界全体のDI値は-32.5となり、前月調査と比較し1.2ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-28.2で前月調査(-21.9)に比べ6.3ポイント下回った。また、非製造業全体のDI値は-35.4で前月調査(-41.6)に比べ6.2ポイント上回った。

エコカー補助金の駆け込み需要により、新車販売台数が大幅に増加した他、家電販売では猛暑によりエアコン等の販売が伸びた。

一方、商店街や食料品製造業の一部では猛暑で売上が減少するなど、業種により明暗が分かれた。

(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

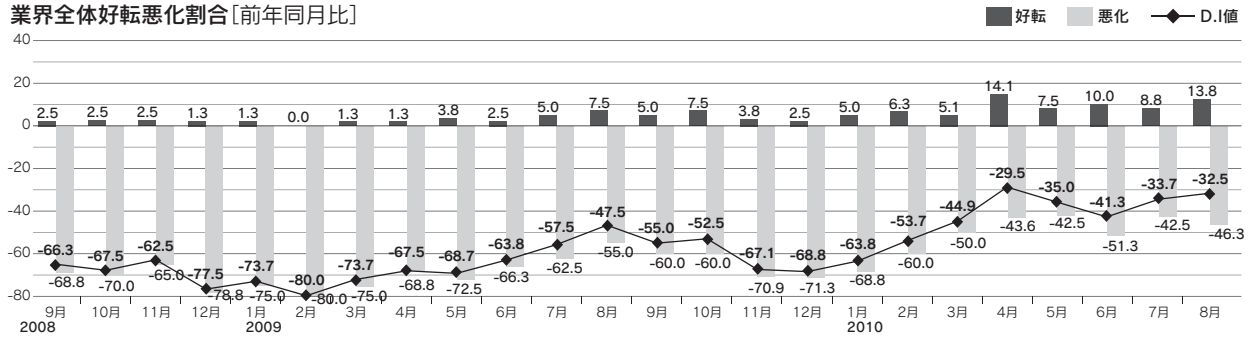
【凡例】

☀️ 快晴 30以上	☀️ 晴れ 10以上 30未満	☁️ 曇り △10以上 △30未満	☔ 雨 △30以上 △10未満	☔ 雷雨 △30以下
---------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------

【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

豆腐油揚げ製造	お盆で前月比では売上が上昇したが、前年同月比では減少した。猛暑の影響もあり豆腐の需要が伸びなかった。
麺類製造	猛暑で例年になく夏物商品の動きが良かった。
乳製品	夏場なので商品は動いているが、景気の先行きが不透明であるため、年末までの業況が懸念される。
繊維製品	メーカーの発注が高品質・小ロット・短納期・低賃金であるため、海外でも国内でも受け入れなくなっており、現在仕事量は十分にあるものの、加工賃アップが見込めないため、収益や資金繰りは改善されていない。
一般製材	乾燥材、集成材ともに操業度を上げているが、原木不足で丸太が高値で安定しており、それを製品価格に転嫁できず、収益は厳しいままである。
みやげ品販売	円高の影響を受け、海外からの誘客が減少している。国内客も土産品購買率が低下している。
自動車販売	8月の新車販売台数は、登録自動車が1,773台(前年同月比107.7%)、軽自動車が1,562台(同118.0%)で、合計3,335台(同112.3%)であった。国の補助金も終了間近で、駆け込み需要があり、全国では146.7%と大幅に前年同月を上回った。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり133円で前月比3円引き下げ、軽油1ℓ当たり112円で前月比2円引き下げ、配達灯油は18ℓ1,442円で前月比21円の引き下げとなった。原油安、円高の影響が当業界にはプラスに作用し、一息ついている状況にある。
電機販売	先月に引き続き、エアコンと冷蔵庫の需要が伸びており、猛暑による特需と感じている。
商店街	【秋田市】家電販売は好調だが、全般的には横ばいである。駅前ではヨーカドーが閉店セールを実施しており、テナントの売上が増加している。 【大館市・能代市】猛暑の影響で日中の人通りが目立って少なくなり、個店の売上也更に落ち込んだ。特に服飾関係は販売計画にずれが生じ経営に大きな影響が出ている。
旅行業	受注は対前年比で国内が100%、海外が106%で推移した。
建築設計	県のリフォーム補助金やエコポイントで小工事が動いてきた。
電気工事	猛暑の影響でエアコン設置のためのアンペア変更工事が前年より増加した。